

# 日刊日本金属通信

2012年(平成24年) 10月29日 (月曜日)

株式会社 日本金属通信社

大阪本社 大阪市西区江戸堀1-19-23  
☎06(6443)6891 FAX(6441)1990  
振替口座 00980-5-51104

東京本社 東京都千代田区神田司町2-19  
☎03(3295)0321 FAX(3295)0374  
振替口座 00190-7-17081

名古屋支局 名古屋市西区名駅2-11-8  
☎052(586)3021 FAX(586)1918

購読料(前金) 6ヵ月49,140円 1年92,400円  
禁: 無断転載・コピー・FAX・翻訳

東洋特殊鋼業、角管・異形管の新商品18点

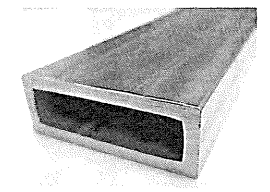
## 全品「SUS304」対応

各鋼種、サイズはニーズに応じて自由自在

東洋特殊鋼業(本社:大阪市西区、武藤賢一社長)は、普通鋼やステンレス鋼、チタン製の角形鋼管および異形管18アイテムを開発し、11月から随時、販売開始する。「対応サイズはニーズに応じて自由自在」(同社)と需要に即したきめ細かな生産をさらに徹底する構えだ。

18アイテムの1つ、「フラット角パイプ」(仮称)は、板厚3.0mmでコーナリーの大きさを1.5mm以下にした角出し角形鋼管。平鋼の代替として軽量化に寄与し、最大3割ほどのコスト削減も可能になる。シャープなデザインも特長。設計事務所や流通にPRしていく。他にも、臨海部の構造物向け「2相系角パイプ」、新たに長方形シリーズをラインナップした「スライド角パイプ」、楕円や六角の異形管、配管用角形ステンレス鋼管など多彩な商品群で新発売を順次予定。カタログは現在作成中。

また同時に、全製品でSUS304A(建築構造用ステンレス鋼管)への対応を11月生産分から実施する。特にJIS規格にない独自の隙間寸法「1とくサイズ」を強みに、炭素鋼鋼管では既に市場の認知度を高めており、今後はステンレス鋼でも製造を始めるとの方針も明かした。



がパイプを抱える。今回の新商品も、顧客のニーズを形にした。異形管は普通鋼鋼管に加え、ステンレス鋼管でも実績を伸ばしている。丸一鋼管の関係会社であり、丸一鋼管の鈴木博之社長は東洋特殊鋼業の非常勤役員も兼務する。「鈴木社長には多岐にわたって経営のアドバイス頂き、負の遺産の掃と経営体質強化につながった」と深い連携を示している。

- ニュースガイド
- \* 関西主力店、8万5000円目指し邁進(コラム市況).....2面
  - \* どうなる鋼管値上げ 9-10月は見送り、11月は?.....2面
  - \* 鋼材市況(今週の展望)(東京).....3面
  - \* ここがポイント(JFE/津山青史スチール研究所長).....7面
  - \* 「外販を伸ばし鉄を支える」(JFEシステムズ/菊川社長).....9面

縞鋼板

# OH-TOMI

http://www.oh-tomi.co.jp